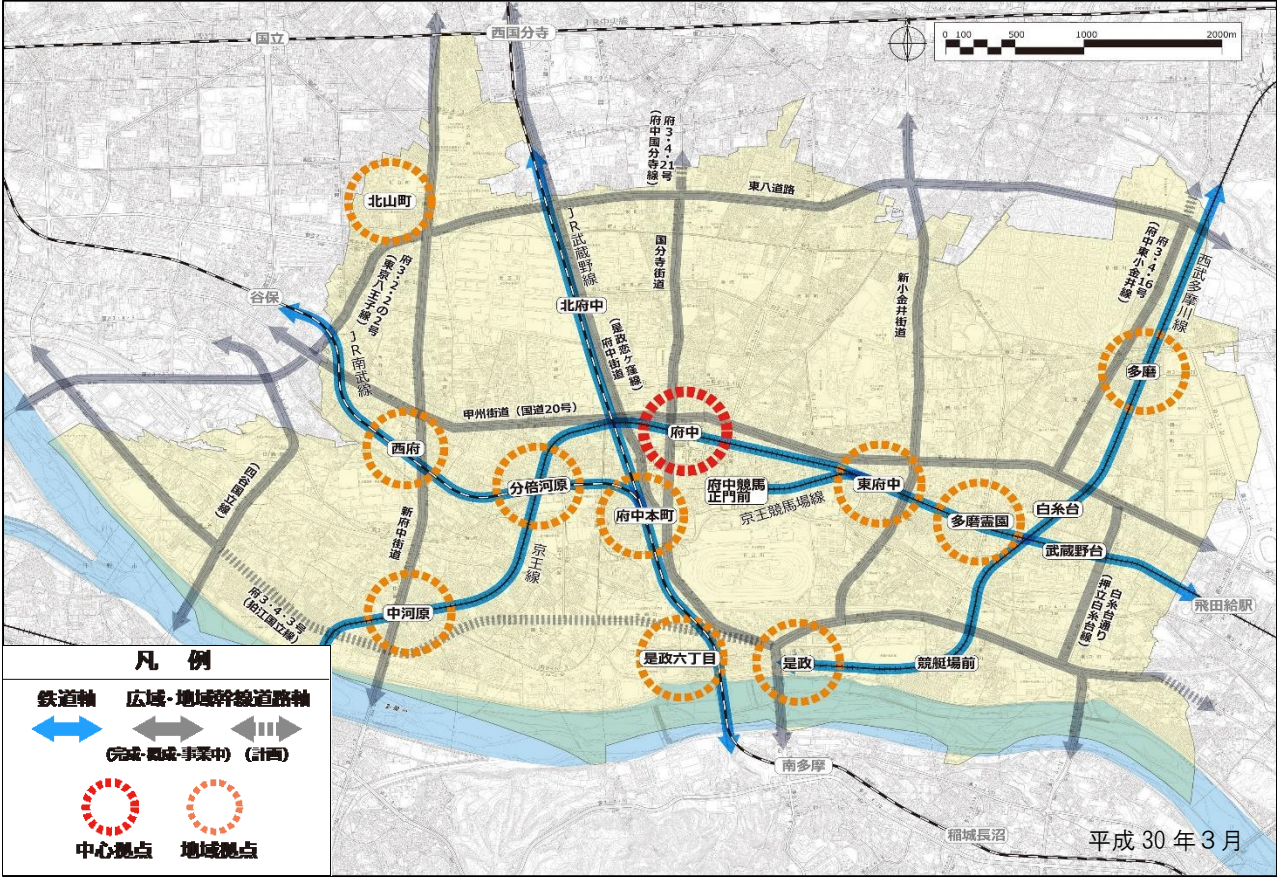
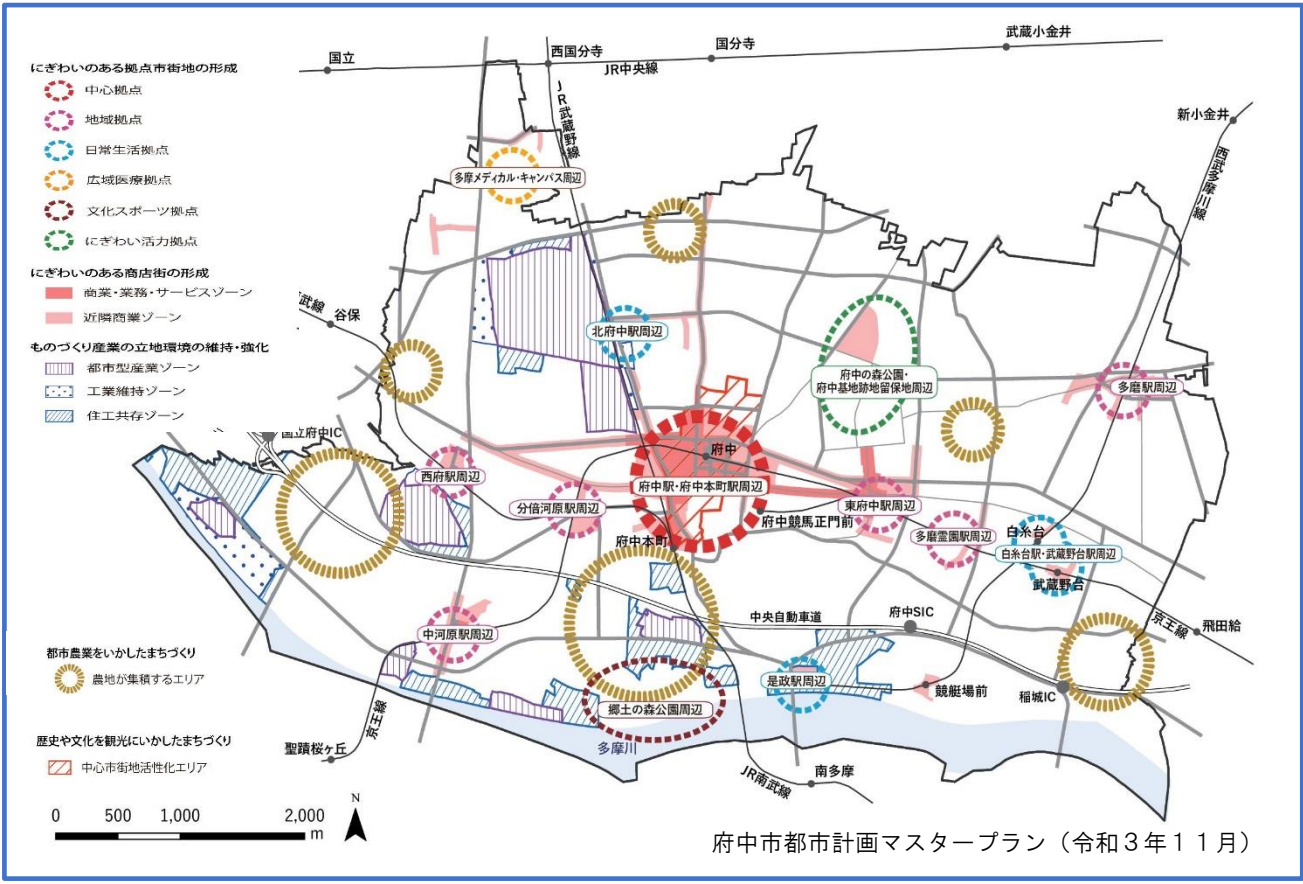


本編全体の修正について（抜粋）③

市上位計画の改定に伴う修正

	修正前	修正後
③	<p>また、府中市の魅力と広域的な拠点性を高める「中心拠点」である「府中駅周辺地区」や、地域住民の生活に密着した商業、業務、サービス機能の集積や安全で快適な居住環境の整備を図る「地域拠点」に「分倍河原駅周辺地区」を含む市内10地区を位置付けています。</p>	<p>また、「府中駅・府中本町駅周辺」について、市域各所からの公共交通アクセス性に優れ、市民に行政中核機能、相当程度の商業集積などの高次の都市機能を提供する「中心拠点」に位置付けるとともに、「分倍河原駅周辺」を含む市内6地区について、地域の中心として、地域住民に行政支所機能、診療所、食品スーパーなど、主として日常的な生活サービス機能を提供する「地域拠点」に位置付けています。</p>
④		

施策の進捗状況に伴う計画期間の修正

	修正前	修正後
⑤	<p>まちづくりと連携した施策を展開していく上では、中期的な取組が必要となることから、計画期間を交通戦略策定後からおおむね10年間とし、市マスタープランの目標年次に合わせて、平成40（2028）年度を目標年次として設定します。</p>	<p>まちづくりと連携した施策を展開していく上では、中期的な取組が必要となることから、令和23（2041）年度を目標年次とする市マスタープランと整合を図りながら進めるとともに、計画期間を交通戦略策定後から各施策が完了するおおむね18年間とし、令和18（2036）年度を目標年次として設定します。</p>